さあ困った！どう対応する？

～精査の進め方から報告・輸血実施まで皆で考えよう～

◎千葉県臨床検査技師会 輸血研究班

千葉県臨床検査技師会輸血検査研究班は、第 66 回日本医学検査学会のスキルアップセミナーとして、ケーススタディを企画しております。

輸血検査で遭遇する困った症例に対し、全員が意見を出し解決していきたいと思っております。症例は２つを予定しております。基本的な精査の進め方から報告・輸血の製剤選択に至るまで４～６名で班を形成し、参加者皆で班ごとに話し合って進めていきます。ファシリテーターの先生が話し合いを円滑に進められるようサポート致します。

話し合いの後、各班に話し合いの結果や意見を伺っていきます。様々な意見が聞けることでしょう。最後には講師の先生に解説を御願いしておりますので、症例の理解が更に深められるものと考えております。

今企画はケーススタディを通じ、「赤血球検査のガイドライン」の理解を深めることを目的としております。皆で話し合いによって出される様々な意見は、今後の皆さまの業務にきっと役に立つものと考えております。輸血検査に従事したばかりの方、日当直のみ輸血検査に従事されている方、輸血検査を専門に従事されている方、輸血検査の経験も年数も関係ありません。皆で話し合って２つの困った症例を解決しませんか？皆様の御参加、お待ちしております。

〈　講師　〉

日高　陽子（東邦大学医療センター大森病院）
森山　昌彦（がん・感染症センター都立駒込病院）

〈　実務委員（ファシリテーター）　〉

桑原　朋和（済生会横浜市東部病院）
鈴木　克（東京山手メディカルセンター）
森　威典（武蔵野赤十字病院）
山本　喜則（帝京大学ちば総合医療センター）
長谷川　浩子（千葉大学医学部附属病院）
三末　高央（船橋市立医療センター）
田原　一史（医療法人社団　誠馨会 新東京病院）
蓮沼　秀和（東邦大学医療センター佐倉病院）
木村　沙紀（帝京大学ちば総合医療センター）
白井　聡（安房地域医療センター）
藍野　なつき（千葉市立青葉病院）